

414
△ 833
6



浪牒第一号

於澎湖島馬公港

明治三十一年八月十八日

浪速船長三須宗太郎

海軍大臣侯爵西郷從道様

自三十一年八月十三日至同月十八日報告

八月十日午後五時三十分松島カビテニ返錨ス
 八月十三日昼食後三増領事以下、本邦避難者ヲ松島
 ニ移ス(但、泉谷精次郎ハ司令在ノ余、依、本艦ニ便乗取
 此他本艦ニ格納アリシ領事館、御真影系ニ要書箱カ
 送テ松島ニ引継ク
 避難船「エスカ」及避難人ヲ松島ニ引継キ、監督將校
 及兵員取替ニ付、午後一時三十分ナリ、同日野司司令在
 ヲリ、左ノ命令ヲ受ク



其艦隊をシムラニ有便宜澎湖島ヲ經テ佐世保ニ
回航シ榮山司令長官ノ命ヲ待ツヘシ

八月十五日午八時後錨澎湖島ヘ向フ同十八日午十時
港ニ投錨ス

一米軍マニラ砲臺ヲ攻ル

八月十三日午八時三十分米國運送艦「サヒロ」及陸兵ヲ
搭載セル外輪船カビテ出港「サヒロ」河附近ノ沿岸ニ向フ
八時四十五分米艦隊揚錨同「サヒロ」市沖ニアリタル「ベト」
ル「コンニド」揚錨其附近ヲ運動シ「マックロク」ハカビテ
ニ般艦隊ニ合ス九時七分各艦各橋ニ軍艦旗ヲ揚
ク此時「バラキ」沖ニ在リタル「ヤレスト」来リテ艦隊ニ
合ス於是艦隊ハ分離シ其ニ隊ハ「ヤレスト」バル「マア
ボスト」ノ三艦ニテ此後軍艦陣ヲナシ北方ニ向ヒ「マニラ

市ノ沖凡五哩ノ所ニ漂泊ス他ノ一隊ハ旗艦「オリシヤ」先
頭トナリ武装一流艇收容艦「カララ」及「コレ」ノ四艘軍
艦陣ノ以キ隊形ヲマラテ砲台ノ稍南方「マリベ」方面
ノ沿岸ニ向フ中途ニ「マニラ」沖ヨリ「コンニド」来ツテ之
ニ合ス又「マニラ」ハ「マニラ」沖ヨリ漸次北方ニ向ヒ「マニラ」
市ト「マニラ」沖ノ獨佛軍艦砲台所ト「マニラ」チ「ヤ
レスト」ニ漂泊ノ北東ノ位置ニ漂泊セリ「マックロク」ハ
「マニラ」市沖合ヲ運動スル三艘ト「オリシヤ」トノ中間ニ立
リテ漂泊セリ又「マニラ」海岸防衛艦「モシテ」ハ「マニラ」
マニラ市ニ向ケ直進シ「パンク」川口附近ニ漂泊セリ九時
廿八分別隊畧圖ノ位置ニ在ツテ「オリシヤ」ヨリ「マニラ」
砲台ノ砲撃ヲ始ム「コンニド」ラ「カオ」及武装流
艇「マニラ」砲撃ヲスル「マニラ」砲台ヨリハ格別抵抗ナク時

発砲セント思ハレシカ其彈着ハ港内ニ能ハカリシ十時
オレシヤハ單獨マシテ市沖ニ向テ沿岸ヲ航シシリク
ク沿岸ニ向テ発砲セリ(エリミタ砲台ヲ砲撃シタルモノナラ
ン)而シテ「モレテリ」傍ニユリ停止漂泊セリ(此等「コレ」
「コンセルド」カララレ及武裝汽船ハ陸ニ接近シテ砲撃セ
リ十時四十分同砲撃ヲ中止ス須臾ミシテマラテ砲台
ヨリ發砲一回スヤ「オレシヤ」主ニ砲撃シ続テカラオ
該砲台ニ近ク烈シク砲撃スルニ遂ニ該砲台ヨリ
發砲スルヲ阻メス十一時為我ノ人發砲台ニ向テ馳セ
リノヲ見シ或干モセフシテ其南端ニ本国旗ノ翻ルヲ
見シ十一時十分「オレシヤ」橋頭ニ降伏ヲ促カスノ
信号ヲ掲ク暫ク時ニテ西軍休戦旗ヲ掲ク十時十七
分「オレシヤ」於テ北方ニ向テ單艦降伏ニ「オレシヤ」

「オレシヤ」三隻及マラテ砲撃ニ「オレシヤ」カララレ及
汽船ノ三隻トサボテ川口附近ニ在リシ「オレシヤ」及外輪船
ナ「オレシヤ」所在ニ集合正午以西軍降帳ノ約束成
立午依テ市中西軍司令部ノ西國々旗ヲ撤去シ末
国旗ヲ掲ケ末國各艦廿一發ノ祝砲ヲ撃ツルス十
四日午後一時松島ヨリマシテ「オレシヤ」對鎮ヲ解クトノ信
号アリタリ

一 右砲撃中陸上方面ノ模様ニ付南得タル(左ノ如シ)
末國陸兵ハ一万余人程ニシテ内一千人程ヲカビテニ陸シ
他ノ一万ヲ二旅團ノ一師團ニ編成シ八門砲八門機関
砲十二門合セテニ市ヲニ侵スルニテ「オレシヤ」西方海岸ニ
「オレシヤ」砲台ニ至リ戦術線ニ配列シ主カマラテ方面ニ
集メタリト云フ

二米軍ハ十時頃より攻撃ヲ始メシモ西軍ハ各堡塁ニ全負
ヲ配備シ僅カニ抵抗ヲ試ミルノミナシテ十時十二分頃南
西ニ當リ白旗ヲ掲ケタリ又又兩軍共ニ三四十名ノ負傷
アリタリト云フ

三此攻撃中友徒ハ全ク加ハラザリシ代ニ西軍降服スル
ヤ凡ソ一ヶ有餘ノ友徒ハコソ市ニ侵入セントセシモ米軍
之ヲ拒絶シ小衛安ノ末友徒ハ徒者ノ位置ニ退却
セリト云フ

四米兵ハ各自三日分ノ糧食及二百發ノ彈藥ヲ携ハシテ
シタルヲ以テ運動迅速ヲ欠キ敵ト對峙シタル時ニ於テ
スラ駈足ヲ用ヒタルモノハ一人モ世ニカリント

五旅團命令、彈空ニ過キ中隊セヨリ発スヘキ命令

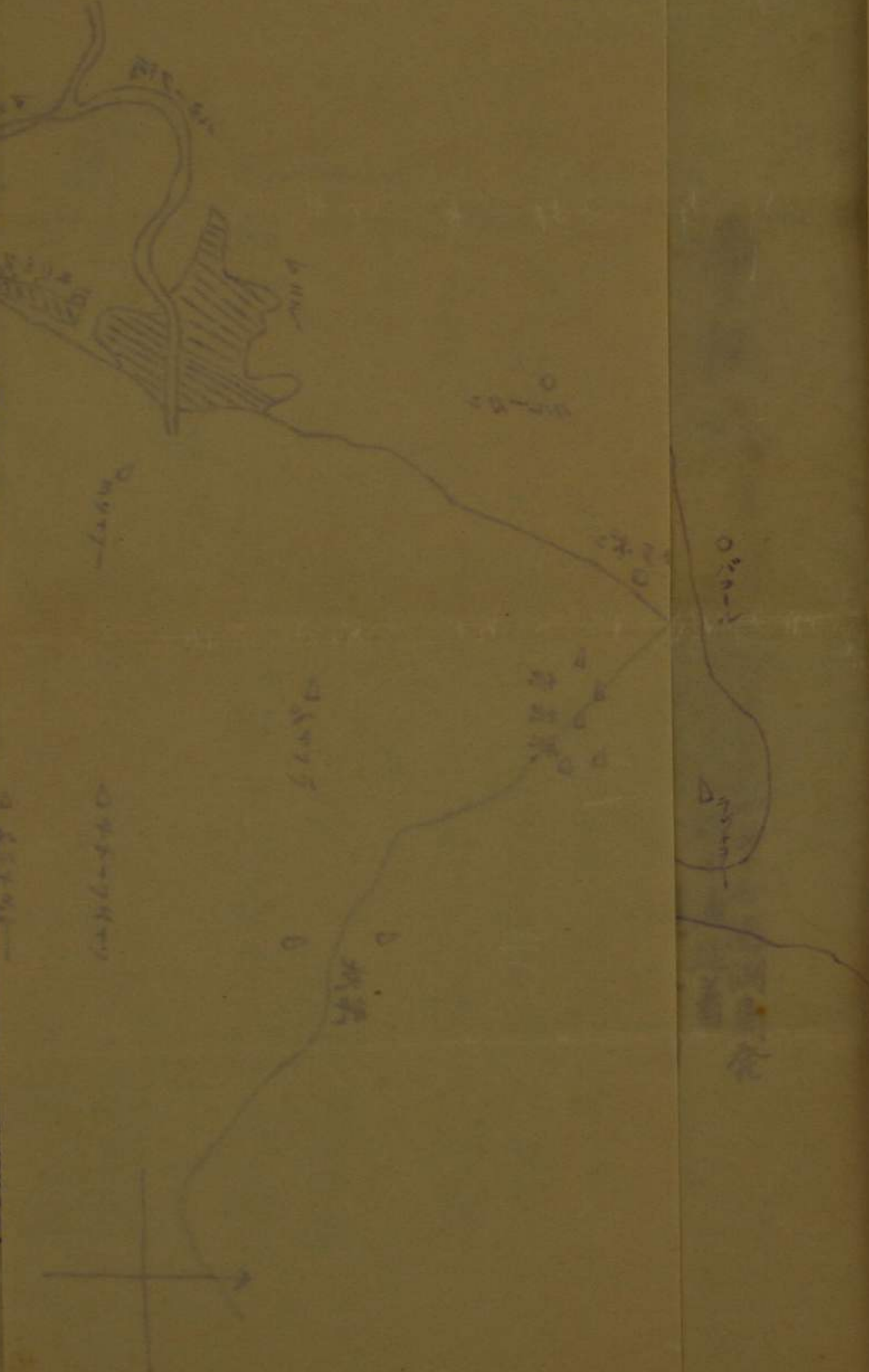
事項ノ以キモ性ハ其申ニ在リタリト

六各兵ノ射撃ハ沈着ニシテ熟練ナリト

七米艦ヨリ發射シタル砲彈最初ハ命中甚ク高シカラザリ
シモ陸上砲臺ニ於テ候キニテ其彈着ヲ如左ニ報
セシヨリ好ク命中スルニ至レリト云フ代ニ此全ク砲台ヲ破
壞スルニハ至ラザリシト又彈底着發信管ヲ付シタル
彈底ニシテ破裂セザルハ不完全ノモノアリタリト云フ
右報告候也

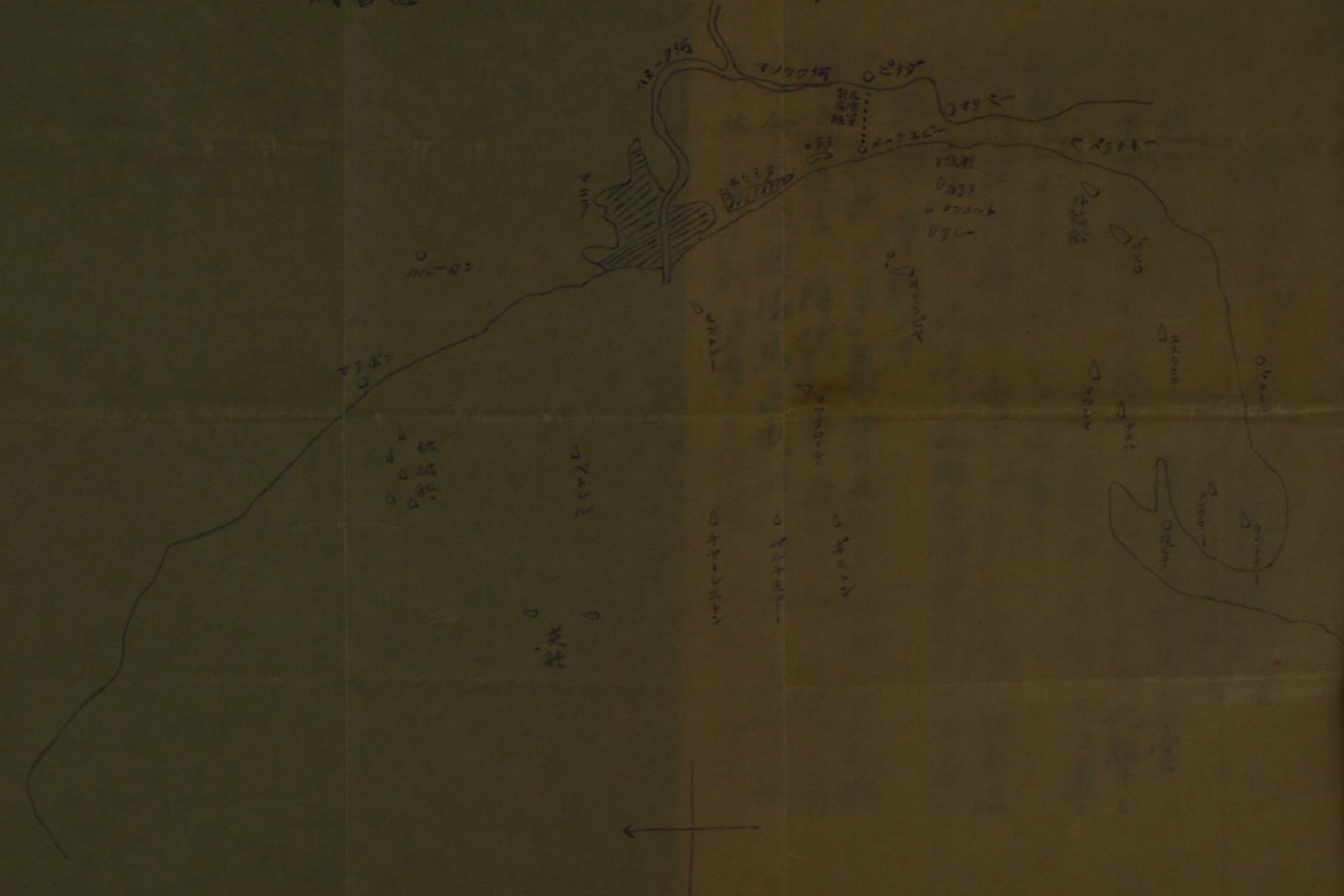
百餘新報力
 於此間 (not sure)
 據此 (not sure)
 在 (not sure)
 大 (not sure)
 於 (not sure)

圖說



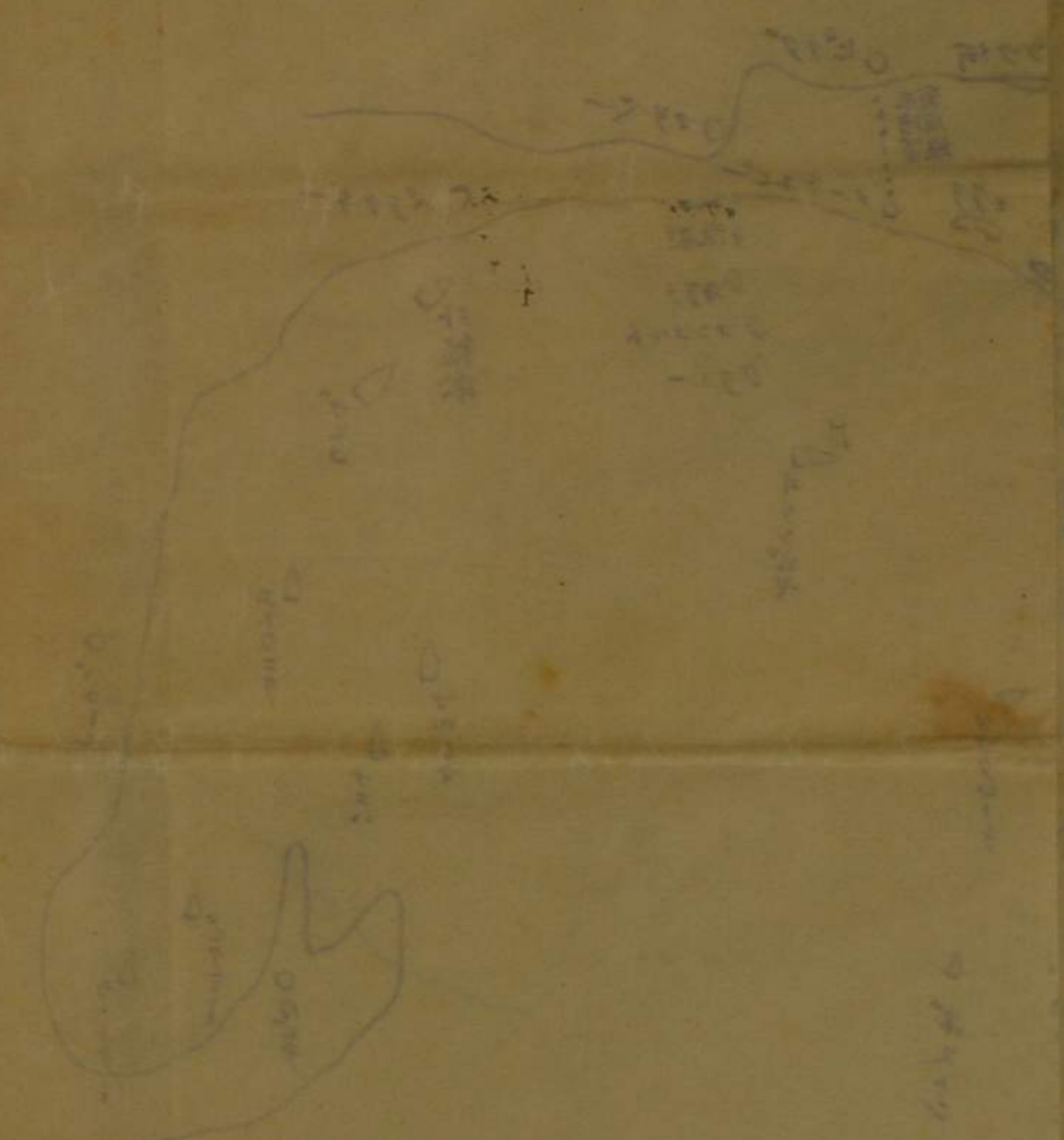
兵士共三馬尼刺保聖士于攻擊之午前十一時陷儿

米艦隊砲擊開始之際各砲台位置圖



Vertical text on the right side of the page, likely a transcription or notes related to the map. The text is written in Japanese and is partially obscured by the page's fold and the image's lighting.

米國海軍



電報

三十二年八月十八日午前九時四十分澎湖島発
月二十三日午後九時不通延着

於馬尼刺軍艦松島

海軍大臣宛

野村常備艦隊司令官

七日米國艦隊司令長官ヨリ馬尼刺市街砲撃ニ
 付キ本日午後一時ヨリ四十八時間内ニ危険ナキ位置ニ
 錨場ノ変更ヲ要スル旨照會アリ
 九日浪速保護船ヲ曳キ「カビテ」ニ入港ス、領事及
 居留人民八名ハ浪速ニ、西班牙婦女老人十五名ハ
 保護船ニ乗組メリ
 十二日松島「カビテ」着本日西班牙總督ハ米國艦
 隊司令長官ノ降伏勸告ニ應セズ依テ午前九時
 三十分米國艦隊馬尼刺沖ニ進航シ米國陸軍
 兵ト共ニ馬尼刺堡壘ヲ攻撃シ午前十一時陥ル

同時本國旗艦信號ヲ以テ降伏ヲ促シ西班牙軍
(降伏旗)ヲ掲ク正午頃降伏約束成立々馬尼
刺市街ハ遂ニ砲撃ヲ免ヌカル午後六時市中司
令部ハ西班牙國々旗ヲ撤去シ米國々旗ヲ掲ク
米國艦隊ハ祝砲ヲ發ス
降伏條件有無未ク分ラス、及賊形勢変リナシ
乗員、居留人民並保護西班牙人皆無事
各國軍艦ハ浪速第九号報告後「カイサー」モシ
トリ入港
十四日封鎖ヲ解ク
浪速十五日馬尼刺ヲ出港ス